

少年院に入所している少年の詩です。

「なりたい」

心がこわれるほど苦しくて

やさしい言葉をかけてくれるひとさがしたけど

どこにもいない ふと思う

さがすような人間やめてやさしい言葉をかけられる

そんな人間になりたい

毎年多くの犯罪が起き、多くの犯罪者が生まれます。この人たちの社会復帰を手助けするのが更生保護（犯罪や非行をした人を社会のなかで適切に処遇し、地域社会の理解と協力を得て、自立し改善更生を助けることにより、安全安心な地域社会を作つくる）であり、保護司等たくさんのボランティアの人が関わっています。

しかし「私が更生させる」「私は導く」等、上から目線になりがちです。指導や助言をするだけでなく、本人自らが他人にやさしい言葉をかけられるようになるよう、いつでも「おかえり」と居場所をつくり寄り添っていくことが大切だと思っています。

